

さがえ未来創成戦略の進捗状況 (効果検証)

令和元年10月

さがえ未来創成戦略推進本部

戦略の基本目標と数値目標・実績値



【基本目標1】魅力ある「しごと」の機会を創出し、社会動態の改善を目指す

	H27fy	H28fy	H29fy	H30fy	R1fy	目標値
有効求人倍率(倍)	0.93	1.02	1.20	1.25	1.16 (4月～7月)	全国平均並み (H30fyは1.62)
			転入者 > 転出者			
	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
今後5年間の 社会減改善数(人)	-130	-143	+13	+19	-43 (1月～8月)	-158 (H27～R1)

【基本目標2】地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す

	H27fy	H28fy	H29fy	H30fy	R1fy	目標値
観光客数(千人)	3,588	3,741	3,592	3,551	—	3,530

【基本目標3】結婚・出産・子育てし未来へ希望を持てる施策を充実し、出生率・出生数を向上させ、自然動態の改善を目指す

	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
合計特殊出生率	1.70	1.45	1.39	—	—	1.7
出生数(人)	334	287	269	289	—	320

I. 農業支援(さくらんぼ)

さがえ
未来
創成

【さくらんぼ労働力確保】



さくらんぼ労働力・質・量・多様性の確保

- ・さくらんぼ箱詰め研修会(28fy:87人→→30fy:96人→1fy:22人)
- ・さくらんぼボーナス(28fy:675人→→30fy:1,283人→1fy:1,495人)
- ・さくらんぼボランティア事業(学生・企業等1fy:112名)(学生ボランティア30fy:11人)
- ・(30fyから) **子育てママが対象のさくらんぼ作業体験会**を実施(30fy:8人→1fy:9人)

初心者のみを
対象に変更

【さくらんぼ生産体制強化】



継続的な生産・作業効率化のためのハード支援

- ・さくらんぼ作業負担軽減安全確保事業
(高所作業車及び乗用草刈機+さくらんぼ選果機(30fy~))
- ・紅秀峰雨よけハウス・加温ハウスの整備を支援



【紅秀峰販路開拓】



- ・東京でのトップセールスや海外への販路開拓(**台湾・マレーシアに加え、シンガポール・香港への試験輸出**)を実施

JAや市等で構成する
海外輸出促進協議会が
実施

【やまがた紅王(山形C12号)の栽培環境整備&販路確保】



- ・**苗木購入への支援(1,330本)**や新植・Y字仕立て等の雨よけハウス整備への支援

紅秀峰栽培面積:27fy:43.2ha→→29fy:50.1ha→30fy:51.5ha

輸出量:28fy:580kg→→30fy:560kg→1fy:620.5kg

I. 農業支援(稲作)

さがえ
未来
創成

【つや姫の生産拡大及びブランド化】

・高級ブランド米「つや姫」の最高級品質を目指して結集したプロフェッショナル集団「つや姫ヴィラージュ」の拡大

⇒ ブランド米の生産拡大へ

つや姫ヴィラージュ面積28fy: 46ha → 29fy: 44.9ha → 30fy: 45.2ha



【雪若丸の栽培環境整備 & 販路確保】

・「さがえ秋のうまいもの市」での雪若丸試食会を実施

⇒ 市内における知名度向上

【寒河江産米の販路開拓】

ふるさと納税の寄附への返礼品として全国の方へPR

<30年産米>

・「清流寒河江川育ち」山形産はえぬき: 2,260t

・つや姫: 86t



つや姫の里さがえのブランド確立と寒河江産米のブランド化

I .農業支援(その他)

さがえ
未来
創成

【伝統野菜の振興や地産地消の促進】

☆伝統野菜の生産体制強化

首都圏等の飲食店(15店舗)での寒河江子姫芋フェア、市内飲食事業者との地元産野菜についての勉強会。生産組合に対し、芋堀機の導入を支援。

☆地産地消の推進による地域内経済の循環

・「さがえのごっつお給食」の実施

JAとの連携などで学校給食での地元農産物の年間を通じた提供

・木育・食育フェス(来場者約1,800人)での試食振る舞い

・6次産業化を見越した新たな作物の試験栽培と加工品開発への支援



【新規就農者の確保/後継者への支援/農地の流動化の促進】

☆新規就農者の受け入れ態勢の拡大(研修受入経営体・27fy:3経営体→1fy:9経営体)

☆新規就農者の確保等の強化

・就農フェア等への出展や就農体験ツアー、農業体験の実施

・新規就農者への住宅支援・営農支援の実施、円滑な経営のための研修会の開催

☆後継者への円滑な経営委譲の支援

・寒河江市担い手の会と連携し、経営基盤強化のため経営戦略勉強会や支援を実施

☆農用地利用集積の推進(28fy:398件106ha→29fy:270件70ha→30fy:306件81ha)

Ⅱ.企業支援・企業誘致



H29/9策定

＜ふるさと名物応援宣言＞
 中小企業地域資源活用促進法に基づき「さくらんぼ&つや姫&ニットの里」として宣言



＜国・市の支援事業＞
 国と連携した「ふるさと名物応援補助」
寒河江市独自の「販路開拓支援事業」

R1から、国内の見本市への出展も対象



東京でも開催

＜雇用確保＞
 ハローワークと連携した就職面談会
 西郡の高校3年生対象の地元企業説明会



丁寧な情報提供

＜支援情報発信＞
 メルマガ「さがえ企業支援だより」
 (30fy:登録件数101件・配信回数21回)

＜地域未来投資促進法(基本計画)＞
 目的: **地域経済牽引事業の促進**
 対象: 寒河江市を含む県内
 支援内容: 課税などにおいて **特例措置あり**

＜29fy: **2.4ha分譲**＞
 ・ぼんち(食品加工業)
 ＜30fy: **4.4ha分譲・0.4ha予約契約**＞
 ・寒河江物流(運送業・倉庫業)
 ・エア・ウォーター(エネルギー関連)
 ・日野興業(製造業・販売業)

※中央工業団地
 未分譲地
 28fy: 17.4ha
 →29fy: 15.0ha
 →**30fy: 11.1ha**



Ⅲ.創業支援



寒河江・西村山創業支援事業計画(H27/10策定)

寒河江市、河北町、西川町、朝日町

山形銀行 荘内銀行 きらやか銀行	山形中央信用組合 山形信用金庫 日本政策金融公庫	寒河江市商工会 河北町商工会 西川町商工会 朝日町商工会
------------------------	--------------------------------	---------------------------------------

※大江町は単独で計画策定(セミナーなどは共催)

フルーツライン
左沢線活用協議会
スキームで参画

+

中山町
山辺町

※関係機関による創業支援連絡調整会議を開催

- ・1市6町による広域創業セミナー(H30/5/12・19・26)
 - ✓ 「5時間×3日」の本格セミナー(ビジネスプラン作成等・参加費無料)
 - ✓ 金融機関をゲスト招聘し、「**金融機関から見た創業**」でアドバイス
 合計6名参加(サービス業3名、飲食業1名、宿泊業1名、広告デザイン1名)
- ・空き店舗等対策支援事業(店舗改装・家賃補助/30fy:9件)
- ・事業承継補助事業(司法書士等への書類作成経費/30fy:6件)
- ・にぎわい創出支援事業(商店街組織等への支援/30fy:9件)
- ・創業者ビジネスネットワーク構築支援事業(30fy:14件)
- ・起業創業支援(コンサルによる個別相談/30fy:10件)
- ・空き店舗バンクの創設(市HPでの情報発信/30fy~)



IV.観光振興(観光資源の発掘・整備/インバウンド対応)

さがえ
未来
創成

- ・市内の自然・歴史等を活かした**観光資源の発掘・整備**
- ・**外国人誘客(インバウンド対応)の推進**

➤ ガイダンス施設整備を含む慈恩寺の観光拠点化

- ・「旧境内保存活用計画(28fy策定)」⇒「旧境内整備基本計画(29fy策定)」
- ⇒慈恩寺ガイダンス施設の造成工事の開始(R1)

➤ チェリーランドの再整備

オープン後25年以上経過

- ・老朽化・旅行スタイルの多様化・道の駅への観光客のニーズの変化
- ⇒市民の憩いと交流人口拡大の場として機能充実を図る「再整備計画」の検討

➤ 葉山周辺の観光拠点化

登山や自転車など
グリーンツーリズム

- ・新たな葉山登山ルート of 整備(東京外国語大学スタディツアーとの連携(30fy))
- ・外国語対応葉山登山マップの作成(東京外国語大学との連携(30fy))

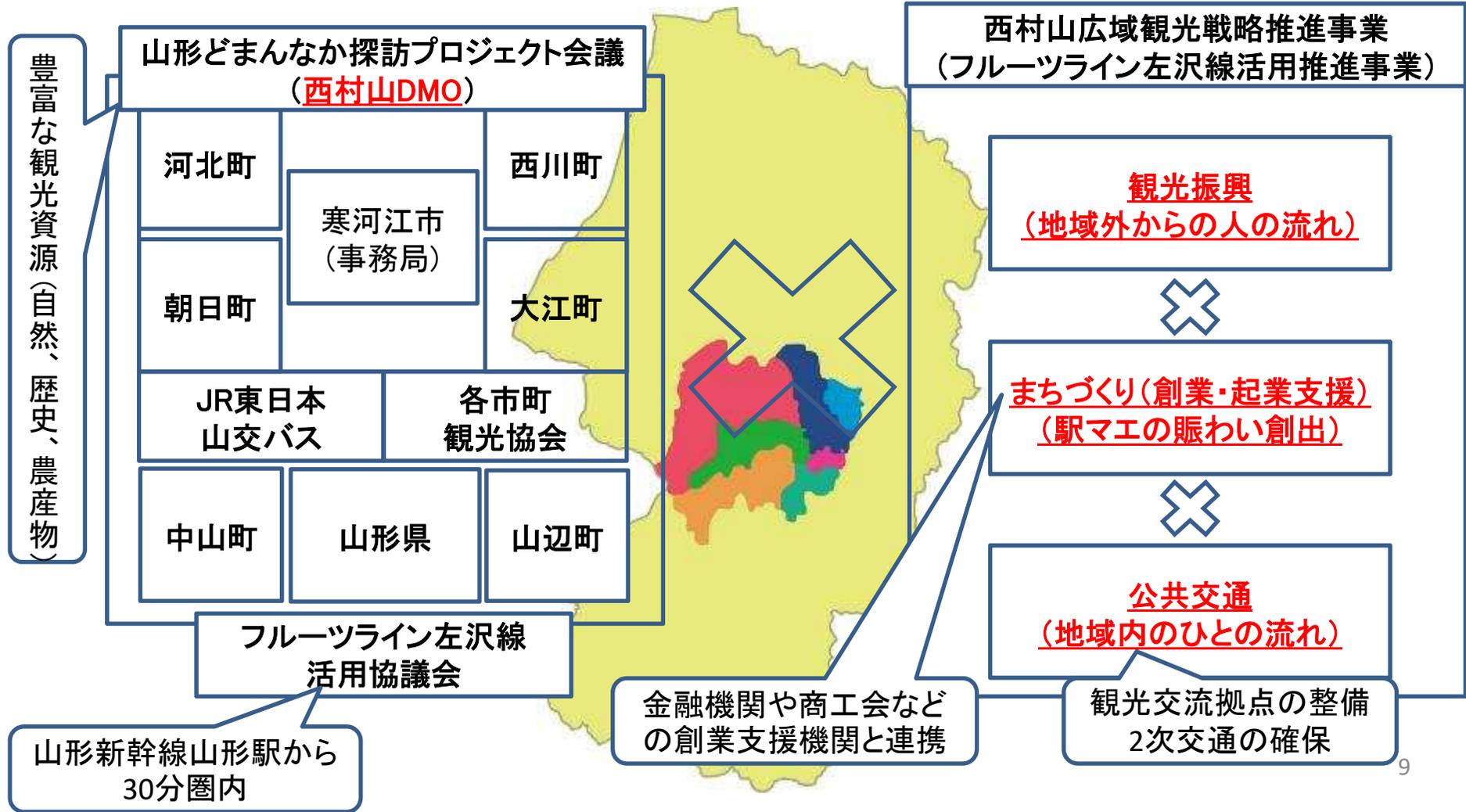
➤ インバウンド(外国人)対応

- ・無料公衆無線LANの維持管理 & 観光ボランティア向け研修の実施
- ・**インバウンド受入態勢整備事業(宿泊施設、観光施設等の施設改造の補助)** 8

IV.観光振興(広域観光)

さがえ
未来
創成

- ・西村山1市4町等による西村山DMOが西村山広域観光戦略推進事業(データ収集、マーケティング、人材育成、創業・起業支援等)を実施
- ・「西村山DMO+α」としてフルーツライン左沢線活用推進事業を展開



IV.観光振興(集客イベント)

さがえ
未来
創成

・四季それぞれの観光イベントを通じ、高いサービスを提供でき、収益性のある観光地域づくりを行うことが必要

第5回は
R2/1/31~2/2
開催予定

前回比26千人増

冬 やまがた雪フェスティバル
⇒「道の駅フェス」や「駅ナカイベント」などのコラボイベントと連携して、観光客数が落ち込む冬季でも来場者の多い大型イベントとして定着(30fy:229千人)

春 寒河江流鎚馬大会(28fy(第1回):9月開催⇒29fy~1fy(第2~4回):5月開催)
⇒ 新たな観光資源発掘、つつじまつりや桜まつりへの誘客効果

初夏 さくらんぼの祭典を中心に更なる観光客数増
・スポーツ大会(ツールド、ウォーク、マラソン、トライアスロン、スケボー)
・クラフトフェア(てとて市)
・さがえ「のあそび」・冷たい麺まつり



秋 寒河江まつりのリニューアル(1fy)
⇒「MIKOSHIフェス」(音楽・お笑いライブ)、種ぽー♪秋の陣
⇒メインイベント(神輿の祭典、流鎚馬)に向けた賑わい創出



イベントを通じた観光地域づくりを推進

I・IV.農業支援×観光振興(戦略的農産物)

さがえ
未来
創成

戦略①: さくらんぼ(紅秀峰)の販路拡大支援

戦略②: 訪日外国人の受入体制の整備

「さくらんぼ」と「りんご」を核とした
広域連携プロジェクトとして認定
(国・地方創生交付金活用)

朝日町と連携した戦略的農産物を核とした
成長サイクルの確立
(販路拡大⇒生産拡大+もぎとり観光)

①農業支援

- ・マレーシアや台湾、シンガポール、香港等への販路開拓
- ・生産性向上に資する農機具等の導入への補助
(高所作業車、乗用草刈機、選果機、樹木粉碎機、雨よけハウス)
- ・労働力確保対策事業(さくらんぼボーナス事業及びさくらんぼ箱詰め研修会開催等)
- ・紅秀峰苗木新植・改植支援

②観光振興

- ・さくらんぼの祭典でのインバウンド観光推進



IV.観光振興(自転車を活用したまちづくり)

さがえ
未来
創成

- ・稼ぐまちづくり及び人が集うまちづくりの観点で新たな視点でのまちづくり
- ・スポーツ振興などの他の政策分野と連携したイベントの実施

訪日外国人を含む観光客数及び宿泊者数の増加
各種イベントの域外参加率向上

サイクリストとコソダテに
優しいまちづくり
(国・地方創生交付金活用)

<平成28年度>

- ・自転車イベント(ストライダーエンジョイカップさくらんぼステージ)
- ・サイクリングコース設定(フルーツライン/上山市との連携)

<平成29年度>

- ・自転車イベント(ストライダー+シクロクロス+BMX(+ツールド))
- ・自転車拠点整備(グリバーさがえ(シャワールーム等整備))
- ・自転車コミュニティ形成(オーナーズミーティング/ストライダー整備)

<平成30年度>

- ・自転車イベント(ストライダー2回+シクロクロス(+ツールド))
- ・自転車拠点整備(グリバーさがえ(シャワールーム等運用開始))
- ・自転車競技普及活動(市内幼稚園等でのストライダー体験会実施)

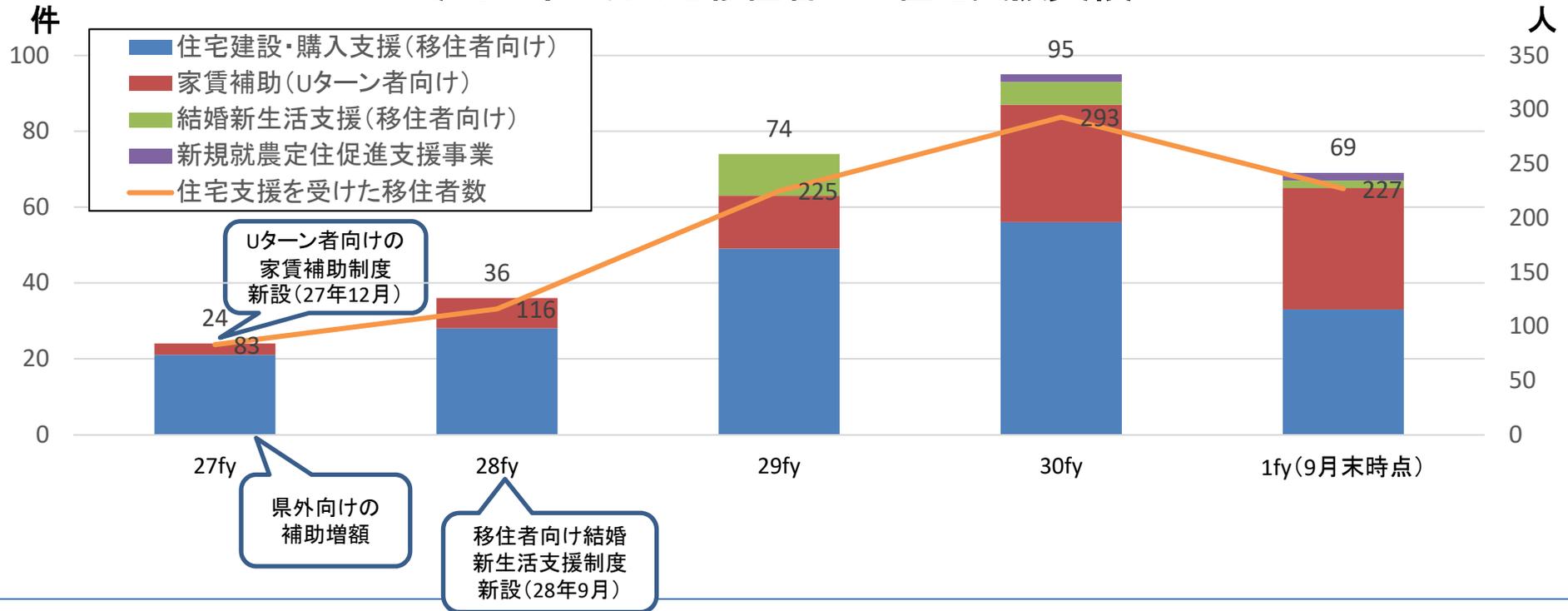


自転車に特化したまちづくり

V.移住・定住支援(住宅支援等)



寒河江市における移住者への住宅支援実績



主な移住・定住支援

- ・ハローワーク寒河江との連携:就職面談会(東京含む)の共催 等
- ・子育て定住住宅建築事業:移住者・定住者向け住宅建築・購入の支援
(中古住宅購入含む/子育て世代や移住者には手厚い支援あり)
- ・定住促進賃貸住宅家賃助成事業:Uターン者向けの家賃補助
- ・奨学金返還支援事業:現在学生の方向けに加え、若者Uターン夫婦向けの奨学金返還支援
- ・結婚新生活支援事業:結婚に伴う若者回帰を経済的に支援(引越し費用や初月家賃等対象)¹³

V.移住・定住支援(魅力発信・ネットワーク構築等)



【ふるさと納税】

全国からの寄附を通じた寒河江市の
プロモーションを実施

(寄附金額)

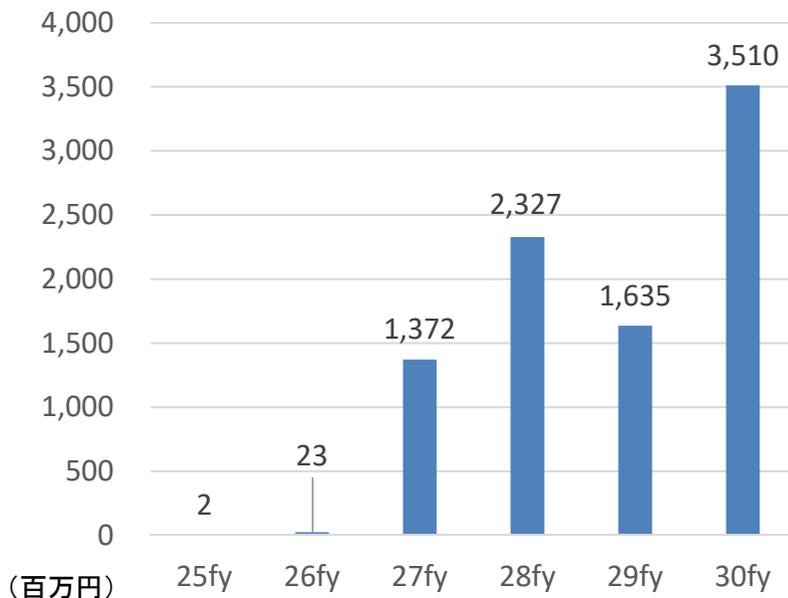
26fy: 約2千万円(約940件)

⇒30fy: 約351千万円(約157,000件)

・ふるさと納税感謝ツアーを実施

⇒**関係人口の創出**

寒河江市へのふるさと納税の寄附金額



【ふるさと会(仙台寒河江会)】

(1fy主なイベントと参加者数)

・さくらんぼ開園式(39名)・総会(135名)

・秋のバスツアー(47名(予定))

※会員数: 614人(1年9月末)←382人(21年度)

【東京外国語大学との連携】

・相互協力協定に基づくスタディツアー

(これまでH30.7・H31.2・R1.9の計3回実施)

【地域おこし協力隊による活動】

・25fy: 1名⇒R1年9月末: 3名

※中山間地担当、NPO支援担当、スポーツ振興担当

【シティプロモーション】

・学校給食の無料化の推進、子育て住宅支援
及び保育関連施設の整備など「子育て支援」と

連携した「**寒河江は子育てに本気
です!**」の**プロモーション**を実施

※県内外コミュニティー誌への掲載

28fy: 15回/29fy: 15回/

30fy: 12回/1fy: 6回(4~9月)

・ホームページ「さがえ、心地。」
でのPR



VI.結婚支援

さがえ
未来
創成

「**結婚新生活支援事業** × **婚活コーディネーター制度** × **結婚支援活動団体補助**」

(多様な結婚支援(直接支援＋環境整備))

【結婚新生活支援事業】

経済的な理由で結婚に踏み出せない若者の回帰を支援する制度(28年9月創設)

対象者:世帯所得340万円未満の婚姻した世帯

※「夫婦どちらも満34歳以下」&「どちらかが転入者」の要件あり

対象費用:引越費用、初月分の賃料、敷金、礼金等

支給額:最大30万円

28fy:0件→29fy:11件→30fy:6件 **3年間でのべ転入者29名**

転入要件があるため、移住支援としても効果的

【婚活コーディネーター制度】

定期情報交換会を実施し、婚活を行う親のサポートや結婚を希望する独身男女の仲介を行う

※寒河江市婚活コーディネーター登録者(R1.6.1現在)19名

＜婚活コーディネーターの支援による市内での婚姻件数＞

25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	計
3件	1件	8件	5件	2件	2件	21件

【結婚支援活動団体補助】

婚活イベント等を開催する団体への補助 (30fy:2件)

VII. 出産・子育て支援

さがえ
未来
創成

【妊娠から子育てまでの切れ目のないソフト支援「寒河江型ネウボラ」】

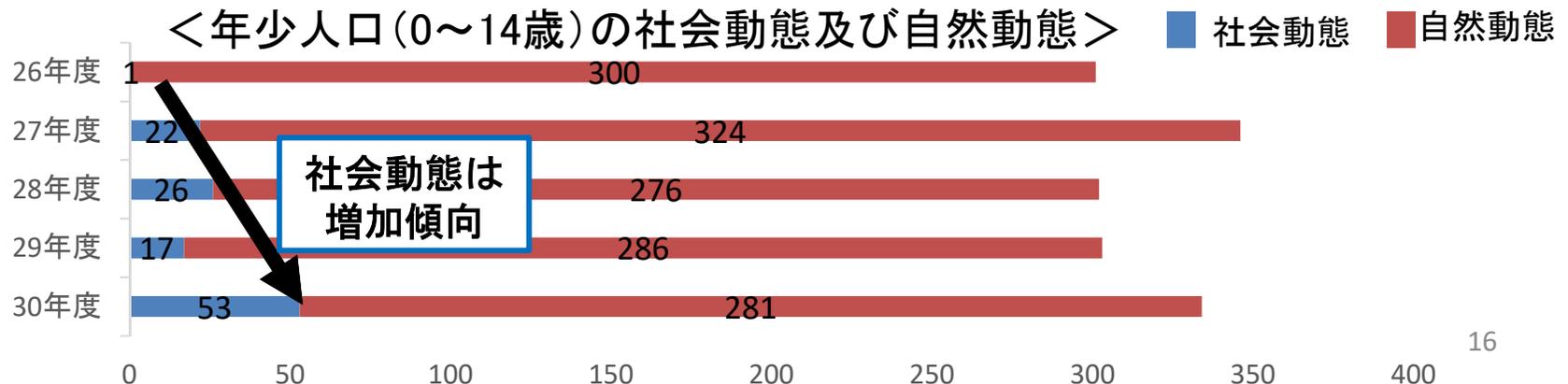
- ・子育て世代包括支援センター(母子保健コーディネーターの配置)
- ・特定不妊治療費助成(上限額を30万円に増額)・一般不妊治療助成(一部助成開始)
- ・(R1から)新生児聴覚検査費用の助成及び不育症治療費助成事業

【子ども・子育てインフラの充実化】

- ・放課後児童クラブの整備(28fy:2カ所、29fy:2カ所、30fy:1カ所)
- ・市立なか保育所の移転開所(土曜日1日保育開始&低年齢児中心に定員40名拡大)
- ・病児保育施設「ゆうきの森」&小児クリニック
- ・小中学校の全普通教室にエアコン設置

【子ども・子育て世代への経済的支援の強化】

- ・医療費無料化の対象を高校3年生まで拡大(H30.7月受診分～)
- ・学校給食の無料化の推進(小学校:半額助成&第3子実質無料化、中学校:半額助成)



Ⅷ.まちづくり

さがえ
未来
創成

都市づくりの方針を定めた都市計画マスタープランを見直し(平成29年3月)

【基本理念/主な取組】

- ・自然空間と調和した、誰もが親しみを持ち、憩いと安らぎを感じる都市空間づくり
- ・定住人口の確保や交流人口の増加に向けた取組み及び安全安心に住みよいまちづくり

・住宅団地造成の促進及び住宅取得の支援

宅地開発事業者への助成(30fy:3件)、個人の住宅取得への補助(30fy:130件)

・空き家バンクの拡充等の空き家対策の推進

空き家の調査及び老朽危険空き家解体補助の調査(1fy:10件)を実施

・空き店舗の活用や克雪の観点を踏まえたまちづくりの推進

空き店舗バンクを創設(30fy)／雪の総合窓口の設置や除雪情報管理システムの活用

・中心市街地の活性化(駅前等のイベント開催及びフローラSAGAE利活用)

⇒ちえり～マルシェ(30fy:全10回/延べ参加者9,240人)などの開催

・公共交通ネットワークの拡充

⇒循環バスの本格運用(平成28年12月～)や他市町営バスとの連携(天童市・西川町)

稼ぐまちづくり及び**人が集うまちづくり**の実現

VIII.まちづくり(地域資源を活用したまちづくり)

さがえ
未来
創成

戦略①:人が集うまちづくりの観点から新たな視点でのまちづくりを推進

戦略②:子ども・子育てインフラの充実化

⇒「森林×農産物」を活用したまちづくり

国・地方創生交付金活用

R1は住宅フェアと
コラボ開催
(R1/10/5-6)

・木育・食育フェス(30fy参加者数:約1,800人)

木のおもちゃがやってくるグッド・トイキャラバン(芸術と遊び創造協会)が中心
やまがた雪フェスティバルとのコラボ(チェリーナでの開催)

地元産農産物・木材の振興 ⇒ 野菜を使った料理振る舞い・木製遊具の販売
入場料を充てて市内幼稚園保育園小学校等への木製遊具を整備



・公共施設における地元産材の活用

市立なか保育所の移転・新築

⇒地域産材の西山杉をふんだんに
使ったぬくもりのある保育所に



・県産材の利用普及を推進

いこいの森やチェリーランドさがえに県産材を利用したベンチを設置し、利用普及を推進

VIII.まちづくり(地域づくり(田代地区))

さがえ
未来
創成

地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利用など)

山形県と連携した地域
づくりプロジェクトとして
認定(国の交付金あり)

<地域づくりの拠点化>

コミュニティビジネスを核とした新たな地域づくりの拠点として旧田代小学校を「学びの里TASSHO」としてリノベーション(平成30年4月~本格運営スタート)

⇒地域外向けの「宿泊+レストランなどのコミュニティビジネス」

⇒地域内向けの「高齢者サロンなどの交流」



<コミュニティビジネスを核とした新たな地域づくりのモデル>

行政と連携した
自立的な地域づくり



「自ら稼ぐ」
コミュニティビジネス

集落機能の維持

30fy利用者数
宿泊:1,027人
レストランたしろ亭:
2,208人